

# 福井県初の重要文化的景観（国指定）

## 越前海岸の水仙畑 上岬の文化的景観

11月20日に国の文化審議会が開催され、「越前海岸の水仙畑 上岬の文化的景観」が福井市、南越前町とともに県内で初めて重要文化的景観に選定されることになりました。この重要文化的景観とは、土地の風土や人々の営みの積み重ねが現れた景観で、後世に残すべき重要なものを文化庁が選定し、保護・活用するもので、これまでに全国で65件が選定されており、今年度の選定で70件となる予定です。

※越前地区の梨ヶヶ平区、血ヶヶ平区、左右区、玉川区の4区を総じて「上岬」と呼んでいますが、今回の選定では、現在水仙農家がない玉川区を除いた3区が重要文化的景観の選定範囲となります。

越前海岸の水仙畑は、急な崖が連なる越前海岸の厳しい地形を生かして、もともと自生していた水仙を斜面や棚田に栽培地を広げ、地域の代表的な産物として発展させてきた、上岬の人々の営みの中で形成された水仙畑や集落が、越前海岸における人々の暮らしを理解する上で不可欠なもので、重要であると評価され、選定に至りました。花の栽培に関する重要文化的景観の選定は全国で初めてとなります。

生活や生業が作り出してきた「越前海岸の水仙畑 上岬の文化的景観」が重要文化的景観に選定され、水仙栽培に携わる皆様に対し、深く敬意を表し、大変嬉しく思います。これを機会に、福井県を訪れる観光客の皆様には、ぜひとも越前海岸の水仙畑を回遊していただき、地域住民との交流を図りながら、越前町の魅力を全国へ発信していただければと思います。

町としても、地域の皆様と連携を図りながら、「人と技海土里織りなす 快適なまち」の実現に向けて広く活用し、さらに魅力が向上するよう様々な支援を行うとともに、今後も水仙畑の景観保存に努めてまいります。



越前町長  
内藤 俊三  
越前海岸の急傾斜地帯で、今日までの

### 重要文化的景観を形成する重要な構成要素

文化的景観の本質的な価値を形成するためには重要であり、将来にわたって保存することに對して所有者などの同意が得られた16件を「重要な構成要素」として特定し、保護の対象としています。

重要な構成要素の位置図



上空から見た梨子ヶヶ平集落



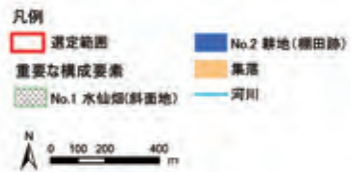
急斜面で収穫作業をする水仙農家



鳥糞岩と左右集落



呼鳥門



水仙の耕地 (棚田跡)



血ヶヶ平集落

問合せ先 地域創生室 ☎ 34-8714